



暑さ寒さも彼岸までとはよく言ったものです。東京や大阪では、本当にお彼岸を境にして一挙に秋が来た感じです。なにより空気が澄みきって頭脳活動にはちょうど良い季節です。多くの高校では、文化祭などの行事がこの時期にほぼ終了。あとは受験勉強モードにはいる時期でもあります。そんなさわやかな季節に、今月もネットワークの活動と情報をお届けします。

◆ 目次

【 1 】 最新活動報告

9月の活動を報告します。

【 2 】 イベントカレンダー

これからの活動の予定などを紹介します。

【 3 】 授業のヒント

【 1 】 最新活動報告

■ 「先生のための経済教室 in 札幌」を開催しました。

日時：2013年9月14日（土） 9時30分～16時30分

場所：北海道教育大学札幌駅前サテライト

内容：参加者30名。

第一時間目は、「法教育と経済教育」の講義で、日本大学の中川雅之先生が、労働問題を切り口に法教育と経済教育を一体のものとしてとらえることで、生徒の関心や意識が高まるという話をされました。

二時間目は、「金融教育のすすめ方」の紹介と体験が北海道金融広報委員会事務局長武田吉孝氏により行われました。金融経済教育の必要性からはじまり、日銀短観の作成プロセスの紹介や、模擬データを使って参加者が作成するなどの興味深い体験授業となりました。

お昼をはさんで、三時間目は「経済の授業をエコノミストと作る（社会福祉問題）」で、大阪狭山市立南中学校の奥田修一郎先生が授業提案を行いました。先生の日頃実践している事例と、作成された福祉を考えるすごろくや、現在開発中の市場を教える教材を先生方に紹介、実際に取り組んでみて改善点を提示し合いました。

四時間目は、「市場経済の考え方と教え方」の講義で、ネットワーク代表の篠原総一先生が、新しく出された中学公民と高校「政治・経済」の教科書の記述を素材にして、その不十分さや問題点を指摘するとともに、一番やさしく市場を理解する書き方の提案をされました。

最後の五時間目は、「エコノミストと語ろう！TPPなどを授業でどう扱うか」のタイトルのシンポジウムで、篠原代表、中川先生、武田氏、奥田先生がシンポジストとなり、新井が進行役となりすすめました。ただ、三時間目の実践に時間がかかり十分な議論ができなかったのが、残念でした。

全体として、内容豊富でかつ現場の要求に応える内容の濃い教室となりました。今後この種の教室を継続させること、参加者を増やすことが課題となりそうです。

教室の内容の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/Sapporo0914.pdf>

■大阪部会 (No. 35)を開催しました。

日時：2013年9月21日(土) 18時00分～20時00分

場所：同志社大学 大阪サテライトオフィス

内容詳細は以下のHPでご確認ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka35report.pdf>

■京都部会 (No. 21)を開催しました。

日時：2013年9月27日(金) 19時00分～21時00分

場所：同志社大学 良心館4階第二共同研究室

内容詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto021report.pdf>

【 2 】 イベントカレンダー

■これからの主な予定を掲載します。

東京部会 (No. 60)を開催します

日時：2013年10月1日 19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部 本館中2階会議室

参加方法は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo060flyer.pdf>

■ネットワーク関連団体の動き

- ・全国中学校社会科教育研究会・近畿中学校社会科教育研究会 大阪大会

日時：11月7日(木)～8日(金)

会場：クレオ大阪中央(初日)、大阪教育大学天王寺キャンパス(2日目)

<http://www.nri.com/jp/event/forum/entry.html>

奥田先生により札幌で紹介された新教材の提案などが予定されています。

関心のある先生方をぜひお誘いください。

参加方法は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/etc/2013Zenchushaapply.pdf>

- ・「NRI 未来創発フォーラム 2013」が大阪 10 月 9 日（水）、東京 10 月 28 日（水）に開催されます。講演やシンポジウムなど興味深い内容です。

参加方法など詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.nri.com/jp/event/forum/entry.html>

- ・第 23 回ミニネタ研

日時：11 月 23 日（祝）13：00～17：00

会場：高津ガーデン（大阪上本町）

<http://www.econ-edu.net/announcement/neta/Mini-Neta%2023rd%2020131123.pdf>

- ・第 32 回授業のネタ研究会 IN 関西

日時：12 月 22 日（日）9：30～17：00

会場：エル大阪（天満橋下車西 5 分）

<http://www.econ-edu.net/announcement/neta/32nd%20neta20131222.pdf>

【 3 】 授業のヒント

■ 三面等価を使いこなす

高校の経済分野のなかで教えづらいものの一つに三面等価があります。

三面等価そのものを導く国民経済計算の仕組みが教えづらいこともありますが、それ以上に三面等価を教えたとして、それが一体どんな意味を持つのかが教科書では触れられておらず、生徒に言葉の暗記を強いるだけの終わり方をするケースが多いことと思います。

実は、この先が重要で、ここから総生産（総供給）＝総支出（総需要）が導かれ、さらに、総生産＝消費＋投資＋政府＋（輸出－輸入）の IS バランスの式が導かれるというところまでゆかないと、三面等価の妙味は味わえないのですが、そこまで踏み込んだ教科書は、これまでは桐原書店のものと東京学習出版社（山川出版社）の二冊のみでした。それらの教科書は、新課程で姿を消してしまいました。

三面等価から導かれた IS バランスの式からは、さらに、国の借金は国民の財産であるということや、貿易黒字や赤字は家計や企業の黒字赤字とは違うという理解まで進めることができます。ここまで行くのはなかなか難しいかもしれませんが、少なくとも教える先生たちが見通しをもって、教室でこの部分を扱う必要があるでしょう。

教科書から IS バランスが消えゆくなか、ネットワークのメンバーの北海道の

菅原晃先生が書かれた『高校生からわかるマクロ・ミクロ経済学』という本が河出書房新社から出版されました。先生が自費出版されたものをベースとした本です。山形浩生さんに序文も付き、以前の本に比べて読みやすくなり、活用できる本になっています。

三面等価からはじまり、貿易黒字、貿易赤字、比較優位、国債、財政政策、金融政策まで全6章の本です。手に取ればきつと授業のヒントが得られるだけでなく、考えるためのしっかりした分析道具をもつことがいかに重要かが理解できると思います。(新井)

【 4 】編集後記 (みみずのたはこと)

月末の28日(土)と29日(日)に経済教育学会の研究大会で滋賀大学教育学部に行ってきました。28日のシンポジウムでは、三重大の山根先生が司会で、河原和之先生と一緒に話してきました。また、ネットワーク関係の先生方と多数お目にかかり広がりを感じました。懇親会では地元料理ということで鮎ずしや赤こんにゃくなどがでて、珍味を味わうというより挑戦しました。

はや観光シーズン到来で京都に適当なホテルがとれず草津に宿泊。草津は東海道と中山道の分岐する宿場町として有名ですが、はじめて下車。本陣や天井川で有名な旧草津川などを見学し、予想外の収穫でした。日本もまだ見るべき地が沢山あるんだと改めて感じました。(新井)

参加方法は以下のHPをご覧ください。

<http://ecoedu.jp/2013/05/-29-2013-9-28-29.html#000073>

=====
登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆◇